

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 英語学・英語教育学		
授業担当教員/Faculty	佐藤 雄大		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法・混合法についても理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、学習者要因、指導法、言語テストに関する英語教育学研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。</p> <p>AIの使用については授業で説明する。</p>		
授業計画 / Schedule	<p>第1回 人文・社会科学研究の動向と基礎概念 (Trends in social science research)</p> <p>第2回 英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念 (Trends in English language studies)</p> <p>第3回 科学的研究における研究者の役割と研究倫理の在り方 (Researcher's roles)</p> <p>第4回 研究法 (量的研究・質的研究) の研究事例と課題 (Research issues—qual/quant)</p> <p>第5回 混合法 (概要と事例) の研究事例と課題 (Research issues—mixed methods)</p> <p>第6回 第二言語修得における学習者要因の役割 (Individual differences)</p> <p>第7回 第二言語修得における学習者要因の研究法と研究事例 (Research methods in ID)</p> <p>第8回 第二言語修得における学習者要因についての研究成果と課題 (Research results in ID)</p> <p>第9回 第二言語教育における指導法についての考え方 (Second Language teaching)</p> <p>第10回 第二言語教育における指導法についての研究法と研究事例 (Instructed second language acquisition)</p> <p>第11回 第二言語教育における指導法の研究成果と課題 (Research issues in SLT)</p> <p>第12回 第二言語学修における評価と言語テストの考え方 (Language assessment)</p> <p>第13回 第二言語学修における評価と言語テストの研究事例 (Research results in LA)</p> <p>第14回 (Online) 第二言語学修における評価と言語テストの研究成果と課題 (Research issues in LA) (オンライン授業)</p> <p>第15回 研究課題の整理と考察 (Summary)</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	エリス 俊子		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、1期で学んだ日本文学研究の基礎をもとに、具体的な研究の実践に向けて、実例をもとに発展的な研究方法を修得する。学術研究としての文学研究を行うための基本的な心得を確認した後、それぞれの研究テーマについてはどのようなアプローチが適切であるかを考え、それを自身の研究の中でどのように適用できるか、研究の総合的な意義に照らして主体的に考えることに重点を置く。		
授業計画 / Schedule	第1回 1期の振り返り 第2回 研究テーマの絞り方(1) 研究の意義について 第3回 研究テーマの絞り方(2) 研究の到達目標について 第4回 研究テーマの絞り方(3) 学術研究としての成果について 第5回 研究テーマの絞り方(4) 隣接分野との関係 第6回 研究へのアプローチ(1) 適切な研究方法は何か 第7回 研究へのアプローチ(2) 研究遂行のための基本的な心得 第8回 研究へのアプローチ(3) 研究遂行の基礎的な調査方法 第9回 研究へのアプローチ(4) 研究遂行に際して想定される課題 第10回 研究実践に備えて(1) 論文執筆の基本条件 第11回 研究実践に備えて(2) 論文執筆のさまり 第12回 研究実践に備えて(3) 論文の具体例の検証1 第13回 研究実践に備えて(4) 論文の具体例の検証2 第14回 研究実践に備えて(5) 論文の具体例の検証3 (オンライン) 第15回 まとめ		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書(参考書) / Textbook/Reference Materials	適宜指示する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	近藤 行人		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、I期で学んだ日本語学・日本語教育学研究の動向と考え方、科学的研究と研究者の在り方を基礎にして、日本語学・日本語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。日本語能力の評価、日本語学・日本語教育学研究に必要なITリテラシー、JASPを使った統計分析、第二言語習得研究と指導法、日本語のテスト開発、日本語教育教材開発研究について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。		
授業計画 / Schedule	第1回 研究計画の再検討と研究課題の精緻化 第2回 先行研究の批判的検討と理論的枠組みの明確化 第3回 実践に基づく研究デザインの高度化 第4回 実践の実施とデータ収集の計画化 第5回 実践データの記録・整理とデータ管理 第6回 質的データ分析の深化とカテゴリーの精緻化 第7回 実践の変容過程の記述と解釈 第8回 量的データ分析の応用と結果の検討 第9回 複数データの統合と多面的分析 第10回 結果の解釈と理論的含意の導出 第11回 教育実践への還元と改善サイクルの構築 第12回 実践研究の記述方法と論文化の構成 第13回 研究成果の共有と学術的発信 第14回 査読を想定した論文の改善とリライト 第15回 実践研究の総括と今後の展望		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	なし
授業名 / Subject	特殊講義 II ゲーラルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	大岩 昌子
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程における学修の基礎として、科学的研究と研究者の在り方について深く学ぶ。そのうえで、人文・社会科学研究、音声・音声習得研究の動向を見極め、音声習得研究に必要な研究法の知識・技能、および専門的知識を修得する。研究方法については、量的研究法・質的研究法の両面から理解を深めていく。これらを踏まえたうえで、とりわけフランス人日本語学習者と日本人フランス語学習者の音声習得に関する最新の研究の現況と成果について学修し、自律的な研究を行うことができるようになる。</p> <p>第14週のみZOOMによるオンライン授業となる。 受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前に連絡する。 なお、本授業での生成AIの使用は、担当者によって決められた範囲内での使用を可とする。</p>
--	--

授業計画 / Schedule	<p>第1回 ガイダンス 第2回 音声習得研究の動向と検討 第3回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（母音） 第4回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（子音） 第5回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（特殊拍） 第6回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（アクセント） 第7回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（イントネーション） 第8回 日本人フランス語学習者の音声収録 第9回 日本人フランス語学習者の音声分析 第10回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（母音） 第11回 日本人フランス語学習者の音声事例研究（子音） 第12回 日本人フランス語学習者の音声収録 第13回 日本人フランス語学習者の音声分析 第14回 発表 第15回 まとめ</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	<p>授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。 本授業での生成AIの使用は、担当者によって決められた範囲内での使用を可とする。</p>
------------------------------	--

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	<p>授業中に配布する。 また、音声分析ソフト（種類は任意）を使用する。</p>
---	--

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II グローバルコミュニケーション		
授業担当教員/Faculty	鈴木 茂		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	1期に引き続き、1990年代以降の「多文化共生」をめぐる研究史のサーベイを行います。博士論文の前提となる研究史の整理につなげることが目標です。生成AIの利用については、随時指示します。		
授業計画 / Schedule	<p>外国籍児童・生徒への日本語学習教室について、主要な研究成果を検討します。</p> <p>第1回 はじめに 第2回 報告と討論 第3回 報告と討論 第4回 報告と討論 第5回 報告と討論 第6回 報告と討論 第7回 報告と討論 第8回 報告と討論 第9回 報告と討論 第10回 報告と討論 第11回 報告と討論 第12回 報告と討論 第13回 報告と討論 第14回 まとめ1（オンライン） 第15回 まとめ2</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の授業での報告と討論をもとに評価します。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	（参考書）日本移民学会編『移民研究と多文化共生』御茶の水書房、2011年。		